

200社の最新機器集結

建設・産業資材卸などの吉岡幸(本社福井市宝永3丁目、吉岡正盛社長)は6月1日から3日間、福井市の県産業会館で「産業・機械工業見本市ふくい 2013年ゴールデンフェア」を開く。工作機械や住宅設備メーカーなど全国から約200社が、最新機器を出展する。

1982年から定期的に開催しており、今回は8回目。建設土木機器や太陽光発電モジュールなどの環境機器、システムキッチンなどの住宅設備機器、液晶テレビといった家電などを四つのブロックに分けて展示する。工作機械の

県産業会館

1日から3日間

吉岡幸(福井)が見本市 新幹線コーナーも

実演コーナーも設ける。今回は新たに「北陸新幹線建設応援コーナー」を設置。約20社が、新幹線工事に必要な資材を実物やパネル、模型などで展示し、新幹線が完成するまでを分かりやすく紹介する。環境や省エネに関わる機器の展示を充実させた。家電や住宅設備機器も数多くそろえており、一般消費者も来場してほしいと話している。3日間で1万3千人の来場を見込んでいる。吉岡社長は0776(22)2211。

「実体経済回復を」

県内団体、内閣府へ要望

福井で懇談会



を聴く内閣府の山際政務官(右から2人目)レフシタ福井

内閣府は27日、各地の経済団体から地域の実情を聞き取る「地域経済に関する懇談会」を福井市内のホテルで開いた。山際大志郎政務官が、県中小企業団体中央会の稲山幹夫会長らと懇談。稲山会長は、安倍政権の経済政策「アベノミクス」に伴う円安・株高を評価する一方「地方の中小零細企業に恩恵が回ってきていない」と強調。実体経済の回復に向け、きめ細

いさつした。稲山会長はアベノミクスについて、円安による原材料や燃料のコスト高に懸念を示した。安倍政権が春闘で賃上げを求めたことについても「人件費だけが先行して上がったことについては、経営が厳しい」と指摘。一方「地方の中小零細企業に恩恵が回ってきていない」と強調。実体経済の回復に向け、きめ細

北陸新幹線

敦賀以西3案検証へ

北陸経済連合会は27日、金沢市内のホテルで定期総会を開き、北陸新幹線の敦賀以西ルートに「若狭」「米原」「湖西」の3ルートごとの課題や効果を9月までに検証し、まとめることを決めた。同新幹線金沢―敦賀の工期短縮を図るため、国への要請活動も引き続き行う。

また新規事業として、査研究を実施。東南アジアのIT活用やヘルスケアなア諸国連合(ASEAN)の新産業創出に向けた調の動向を踏まえたビジネ

の軌跡紹介

示コーナー新設



場内に新設した展示市寮町

器など約70点を並べた。この日は、県立天生物資源学部の学生45人が見学に訪れ、川端智雄場長が展示内容を説明した。学生たちは石墨氏の栽培記録ノートや、コシヒカリ誕生の軌跡、ポストコ

又戦略も調査する。永原功会長は冒頭のあいさつで、原発の再稼働について「電力供給の不安定さは国際競争力の低下や産業空洞化をもたらす。安全が確認された原発の再稼働は必要と訴えたが、現時点で具体的成果はない」と述べ、運転再開が進まない状況に懸念を示した。

役員改選では会長、副会長は全員再任された

TPP交渉阻止 総会で特別決議

福井、県農政連 県農政連(山田俊臣会長)は27日、福井市の県農業会館で定期総会を開き、環太平洋連携協定(TPP)交渉阻止に関する特別決議を採択した。写真。同連役員や盟友ら約3